

2006.07.13：防災・危機対策調査特別委員会

「災害時における要援護者の支援について」

池田友信委員

回数が少なく、特別委員会という形で設置してやる以上は市民の方に我々議会が大きなテーマに向かって、こういうことで改善しているという、そういう形の結果で締めくくることが私は大事ではないかなと思っておるんです。テーマとしてはこれもいいんですが、今、非常に他都市の中で災害関係のことをいろいろ検討する中で、神戸の反省を踏まえて各都市がどれだけ準備をするのかと。あるいはしているのかと。こういう形が問われると思います。したがって、その中で仙台市が不備な部分、こういったものができるだけ早急にこの特別委員会の中で掘り下げて成果を出すことが私は非常に望ましいと思います。確かに要援護者の方々の対策も大事だと思いますのでいいと思いますが、やはり、今、問われているのは神戸の中で、避難先で心筋梗塞になったり、あるいは脳卒中になったりという形で倒れているということが、避難先の中でのトイレの問題、特に、トイレが並ぶので水を控えてというようなことの中で、トイレ設置の部分をもっと抜本的に、大きなトイレだけではなくて、公園の中に、避難地の中に仮設としてできるような、これ行政の中で縦割り行政でやれるところと、やっているところと、やらないところが、仙台ははっきり言ってまだやれていない。そういうところを少し具体的に掘り下げて、やはり成果として改善するという、それが5番目の避難支援のための環境整備という形でテーマに入っていますが、そういう形で掘り下げていくということが。

したがって、先ほど笠原委員が言われているように、それを具体的にここで論議をしている中では、当局側の答弁なり見解を聞くときに、消防だけではやはり我々の質疑に「次まで検討してきます」ではいけませんので、先ほどの介護の問題も含めて、このテーマに沿った当局のメンバーをできるだけ、我々特別委員会を設置している以上はそこで何らかの形で話し合いを詰めていけるような、そんな形のメンバーをぜひ御準備いただきたいと。

委員長

今、お三方から御意見というふうにお伺いしてよろしいかと思えますけれども、特に自助努力というところの扱いをどのように織り込んでいくかというようなお話もいただきましたし、それから、被災してからどの程度の時間、避難支援という考え方をすれば、どのところで区切ってやったらいいのかというふうなことも、今お聞きした中ではあるのではないかと思うわけですので、柿沼委員の方からお話しがありましたとおり、調査事項について副委員長とも相談の上、

もう少し整理をさせていただいて、基本的には回数については5回程度ということで今考えておりますけれども、若干ふえるというようなこともぜひ御理解をいただきたいと思います。

なお、健康福祉局については年間計画の説明の中で、後ほどお話しさせていただきたいと思いますのでよろしく申し上げます。

委員長

今ほど貴重な意見をいただきましたので、自助という部分を十分に踏まえた上でこの委員会の運営をしてまいりたいと思いますし、先ほど池田委員からも話がありました、今まで私が申し上げたことは主にソフトの部分がウエートとしては大きいかと思っておりますけれども、この5番の避難支援のための環境整備というところの調査事項にうたってありますように、発災時からの時間軸といえますか、どのへんで区切ってやるかという問題もありますけれども、ハードの部分も若干組み込んでできる部分はやってまいりたいと、そんなことも考えておりましたので御理解をお願いしたいと思います。

池田友信委員

したがって、私は環境整備というと非常に幅が広いので、私としてはぜひ先ほど言った仮設トイレの件に絞っていろいろ質疑をしていきたいと思っておりますので、建設局の説明員もひとつ同席いただくという形で理解していいんでしょうね。そういうことでひとつよろしくをお願いしたいと。

委員長

了解いたしました。なお、他都市視察の中でそういった事例もあれば視察の中に織り込んでいきたいと、そんなふうに考えておりましたので御理解をお願いしたいと思います。

それでは、次に移らせていただいてもよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長

それでは、当局より説明のありました件について、皆様から御質問等がございましたらお願いいたします。

池田友信委員

今の話は次の有識者からの意見聴取するということの前段みたいなものですね。だからそういう意味では、この日に聞いて掘り下げて、我々特別委員会で詰め

た話とか、いろいろなこれからやることを含めて、やるならばもっと中身を事前に口頭だけではなくてペーパーで出してという笠原委員の話もありましたが、ぜひそれをやらないと単なる机上の論議で終わってはまずいなというのが一つと、それから国のガイドラインが出て、そのガイドラインを含めてこちらのいいスタイル、よりよいスタイルだけをつくるのが目的なのかなと、しかしこのアンケート見て、実態はどうなのかと。例えば、ここに自主防災、自主防訓練に関すること云々ということがありますが、「よくわからない」というのが52%あるんですね。参加してますかといったら半分は参加していません。じゃあ今現在こういうふうなモデルを考えていく中で、地域でそういうデータとか情報が出せる体制かといったら、正直言って半分以上はないと。こういう中でどういうふうに進むかということが、私は非常にこれからネックになってくると思うんです。ですから、そういう背景、データも含めて、でないと行政でやるわけではないですから、これ。地域でそういう要望があったものにどういふふうに対応するかということですから。そうすると自主防の体制がないところではできないですよ。そういうことの実態が、データ、背景が我々委員会の中で共有していませんから、そこを共有しながら、じゃあ具体的に仙台としてこういうモデルでこういうふうにしてやってみようというふうなことを、どれだけ地域に対応して、フィードバックしてやれるのかということが詰めていかないと、格好いいガイドラインを仙台市でつくったって、実態はといったら、町内活動、支援体制、自主防体制がこんな状況では全然、その前に何が必要なということになっちゃうと思うんですよね。ですから、できるだけ我々、このテーマを決めた以上はそれなりの実態の状況のデータを出していかないと、私はいいもののモデルを論議して、ただきれいな絵をかいて、こういうことで進めますという形で終わったんでは、地域町内から実態に合っていないよと、こういうことになる。ですから可能な限りそういう資料を出していただいて、我々委員会としては、じゃあ現実、何をどういうふうに詰めるのかというふうにしていかないといけないと思いますので、できるだけ口頭ではなくて、資料で見てもわかるようにひとつお願いしたいと思います。

消防局長

先ほど防災安全課長から御説明した中で、口頭によるということで大変申しわけございませんでした。こちらとしても、持っている情報はなるべくペーパー、文書で提出させていただいて、それをもとにいろいろと報告なり御意見なりちょうだいするように、今後、委員長、副委員長とも相談してなるべくそういうことで共有化ということに意を尽くしてまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

池田友信委員

このアンケート調査は大変私は興味のある、参考になるものだと思います。平成12年の前回の調査と比較してどんなふうに市民の受けとめ方、感じ方が変わっているのかと、こういうことですから、それを踏まえて、これはまたこれから整理するんでしょうけれど、我々特別委員会としてもこのアンケートの結果当局としてはどういうふうに優先順位を決めて何を取り組んでいくのかと、こういう形のものが示されるといいですね。だから、できれば希望としてはこの開催中に、このアンケートの結果こういうことが重要なのでこの辺のことに取り組んでいきたいというふうな、そういうことの項目が少し出せるといいと思うんです。意見として、例えば、個別のものを全部言うつもりはないんですが、自主防の、先ほど言った防災訓練に関することの中で「よくわからない」というのが52.9%あるということは、防災訓練、自主防の地域の浸透がされていないというか、そういうことに対する、これからどんな指導を消防として地域にやっていくのかとか、地域での防災活動への参加意識というので「活動の内容によっては参加してもよい」ということは、ちょっとマンネリになっているのかなと。だから活動の内容を少し変えていくことによって、相当これは、ある意味ではみんなが参加すると。消防が地域で指導している防災訓練のあり方ということについて、これから取り組んでいくとかというふうな形にするのかとか。それから、前回の中で非常に災害時要援護対策に関する行政への要望の中で「地域での協力体制づくりを進める」ということに対する変化が出てきているわけですね。そういうことの前回との比較、あるいはアンケートの中の結果によって消防の当局としてどんな形でこれから地域の指導を強化していきたいと、こういうことがアンケートの結果として出されると、議会側としては市民にアンケートをとって結果だけ見せるのではなくて、じゃあどうするのかということのをこれからぜひひとつ整理をされてPRしていただきたいというふうに思っていますけれども、アンケートの報告の最後の方で言っていると思いますけれども、それをひとつ強調していただきたいと思います。

池田友信委員

地域防災の実態のデータを出していただかないと論議がかみ合わなくなると、先ほど言った要望の。あるでしょう、地域の自主防の組織とか活動状況とか、その体制、状況。実際、仙台の地域でどんな状況になっているのか、それを資料として出していただきたいと。

委員長

ただいま出ました2点についてですが、一つは地域防災訓練の状況ですか。

池田友信委員

その支援の現在の状況、ガイドラインをこれからつくるわけでしょう、その参考資料、論議のたたき台、それでないと、すぐれたものをつくるのはいいけれども、実態どうなのかなという感じが。その辺どうなんですか、実態無視で一つのいいものを国のガイドラインに沿って仙台市のガイドラインをつくってしまおうと。

危機管理監

前段の方の自主防災組織関係の資料の方でございますけれども、委員から、今、要請がございましたけれども、その要請に沿ったその内容の資料について精査をさせていただきます、後で委員長、副委員長と相談させていただきます、そういう資料でよければ出させていただきますというふうに考えておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。